

■著者紹介

戸田 清 (とだ きよし)

1956年大阪生まれ。大阪府立大学、東京大学、一橋大学で学ぶ。獣医師(資格)。博士(社会学)。日本消費者連盟事務局、都留文科大学非常勤講師などを経て、長崎大学環境科学部教員(環境社会学、環境思想、平和学)。長崎県民間教育団体連絡協議会(県民教連)会長。石木川の清流とホテルを守る市民の会・共同代表世話人。玄海原発差し止め裁判、安保法制違憲訴訟(長崎)などの原告。著書は『環境の公正を求めて』(新曜社、1994年)、『環境学と平和学』(新泉社、2003年)、『環境正義と平和』(法律文化社、2009年)、『〈核発電〉を問う』(法律文化社、2012年)『核発電の便利神話』(長崎文献社、2017年)。訳書に『動物の権利』(岩波書店、2003年)、『動物の解放 新版』(人文書院、2011年)、『エコ社会主義とは何か』(緑風出版、2009年)、『モンサント』(監修、作品社、2015年)ほか。共著は『ナガサキから平和学する!』(法律文化社、2009年)ほか多数。